

令和2年9月15日

新潟県立新津工業高等学校

同窓会評議委員 各位

新潟県立新津工業高等学校

同窓会長 川内 勝



令和2年度の評議委員会・総会中止のお知らせ

秋晴の候、皆様方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
平素は、同窓会活動に格別のご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、全世界的に新型コロナウイルス感染症が拡大し、各種団体の総会やイベントが中止となっています。母校も既に体育祭・文化祭の中止を決定しました。

令和2年度の評議委員会並びに総会についてですが、諸般の事情を考慮して開催を見合わせる事に致します。総会決議に代わる方法として、書面総会の形式を採用致しますので、配布した資料を確認して頂き、異議のある方からのみご意見を頂くように考えております。つきまして下記の要領にてご回答をお願い致します。

記

1. 配布資料 「令和2年度 第54回同窓会定期総会資料」

2. 異議がある場合の意見送付先

送付方法 文書またはメール・FAXにて通知してください
書式は問いません

送付住所 〒956-0861 新潟市秋葉区北上1丁目10-17

氏名 川内 勝 宛て

緊急連絡先 携帯 TEL 090-4917-1123

FAX 0250-47-8028

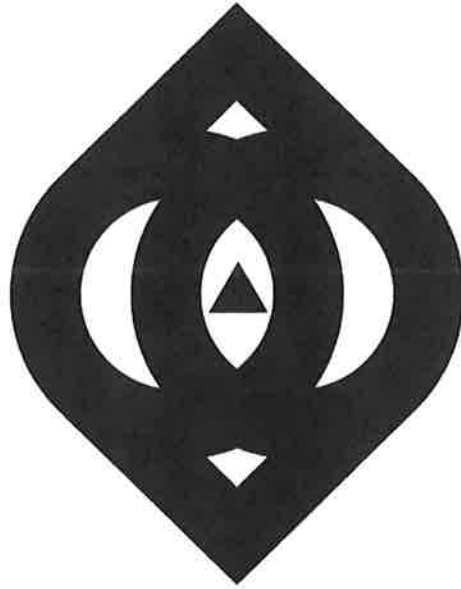
eメール kawa3@poplar.ocn.ne.jp

3. 意見送付期限 令和2年10月末日迄受付

※締切り後、年内目処に回答を報告致します

令和2年度

第54回 同窓会總會



新潟県立新津工業高等学校同窓会

【日 時】令和2年10月期

【会 場】書面總會にて該当なし

〈 第54回 同窓会総会 次第 〉

- (1) 開 会 (進行：) ---形式のみ
- (2) 同窓会長挨拶 (川内同窓会長) ---次頁に書面挿入
- (3) 議長選出 (議長：) ---形式のみ
- (4) 議 事
- ・ 第1号議案 令和元年度活動報告
 - ・ 第2号議案 令和元年度会計決算報告
 - ・ 第3号議案 令和元年度会計監査報告
 - ・ 第4号議案 令和2年度活動計画 (案)
 - ・ 第5号議案 令和2年度活動予算 (案)
 - ・ 第6号議案 同窓会役員について
- (5) その他
- (6) 議長退任 ---形式のみ
- (7) 閉 会 ---形式のみ

参考資料 添付1 「新潟県立新津工業高等学校同窓会会則」

添付2 同窓会入会式実施要項 (R2.2.28 実施分)

【 (2)同窓会長挨拶 】

同窓会の皆様におかれましては益々のご活躍の事とお慶び申しあげます。新型コロナウイルス感染症拡大が世界的な規模となり、各種団体の総会やイベント、花火大会等の公なイベントは軒並み中止になりました。母校の行事も縮小傾向にあり、まず、卒業式・入学式は来賓要請せず当事者と保護者が安全なディスタンスを確保しながら粛々と執り行われました。体育際並びに文化祭は既に中止が決定しており、更にインターハイの中止を含めてあらゆる競技試合が実施できないことで、学生諸君のストレスは計り知れないのではと推察しています。

今年度の同窓会活動について、役員改選後の節目の年であったのですが、諸般の事情で会議自体の開催を自粛せざるを得ない状況です。よって、総会も書面開催という形態を取らせて頂きますので、どうぞご理解を頂きたく宜しくお願い致します。

活動内容は基本的に従来の流れを踏襲しながらとなりますが、特に母校支援について、卒業生としての経験談話や現場案内の機会を従来ペースより密にと考えています。母校側からも同窓会との交流を維持する上でより濃いものにしたいと要請を受けています。

また会計的見地から一言加えますと、同窓会ホームページについては従来から会員の好意で年度更新やサーバー管理を行ってきました。今後は正式に運営費として予算措置したいと思えます。それと、同窓会報配送や案内文書の発送事務費について、若干であります予算に反映させて頂いておりますことを御了承願います。

同窓会役員について、地元に残る卒業生に見聞すると案外多く人数が残っていますので、若い世代を念頭において発掘できればと考えています。

以上、総会に見立てて会長挨拶としました。今後も新津工業高等学校同窓会の運営にご協力を賜りますようお願いいたします。

第1号議案

令和元年度活動報告

平成31年	4月 7日	母校（第57回）入学式	-----	済み
令和元年	7月18日	役員会	-----	済み
	8月 1日	同窓会報第53号発行	-----	済み
	9月 6日	評議議委員会	-----	済み
	10月 6日	第6回ゴルフ大会（懇話会 共催）	---	済み
	10月20日	第53回総会	-----	済み（新役員承認）
		会 場	枳形屋	
		総 会	16：00～	
		懇親会	同会場	
	12月	役員会	-----	未実施

※ 令和元年度末頃、中国武漢発祥として新型コロナウイルスの感染症が拡大

令和2年	2月28日	同窓会入会式	-----	済み (感染症対策を施しての実施)
	3月 2日	第55回卒業式	-----	済み (来賓要請しない旨連絡あり、PTA・同窓会出席なし)

第2号議案

令和元年度 新津工業高等学校同窓会 会計決算書

収入の部

項目	予算	決算	比較	備考
繰越金	38,951	38,951	0	繰越金
新入会費	762,000	762,000	0	@6,000×127人
広告収入他	69,049	60,015	9,034	寄付、利息ほか
計	870,000	860,966	9,034	

支出の部

項目	予算	決算	比較	備考
事務費	35,000	21,563	13,437	事務用品、手数料ほか
会議費	10,000	0	10,000	
通信費	55,000	40,420	14,580	会報等送料、切手代
会報印刷費	55,000	53,568	1,432	会報印刷代
新入会員記念品代	140,000	112,640	27,360	印鑑 ケース付 128本
表彰・記念品	100,000	79,240	20,760	資格・技能取得奨励 図書券@5,000×14名 賞状プリント9,240
同窓会資金	400,000	500,000	-100,000	
総会費	30,000	15,000	15,000	
予備費	45,000	15,000	30,000	山川校長転任送別
計	870,000	837,431	32,569	

差し引き 860,966 - 837,431 = 23,535 円 次年度繰越

令和元年度 新津工業高等学校同窓会 特別会計決算書

項目	金額	積立金額	備考
平成26年度末積立金	1,950,169	500,169	
平成27年度末積立金	2,450,470	500,301	積立金+利息
平成28年度末積立金	2,750,498	300,028	積立金+利息
平成29年度末積立金	3,340,521	590,023	積立金+利息
平成30年度末積立金	3,940,547	600,026	積立金+利息
令和元年度末積立金	4,440,596	500,049	積立金+利息

令和元年度会計監査報告

会則に基づく会計監査を、令和2年8月10日に行いましたので、下記のとおり報告いたします。

記

1 収支報告	総収入額	860,960 円
	総支出額	837,431 円
	残 額	23,529 円


2 同窓会資金 4,440,596 円

3 帳簿についても審査しましたが、各項目別に詳細に記載され、受領証等もよく整理されており正当と認めます。

新潟県立新津工業高等学校同窓会

会 長 川 内 勝 様

令和2年8月10日

会計監査委員 藤原 繁 

会計監査委員 五嶋 宏明 

第4号議案

令和2年度 活動計画（案）

令和2年	4月 7日	母校（第58回）入学式 (来賓要請しない旨連絡あり、同窓会長出席なし)
	9月10日	同窓会報第54号発行
	9月 末	評議議委員会 ※開催案内はしません。書面配布のみ
	10月 6日	第7回ゴルフ大会（懇話会共催） ※同窓会からの案内はしません 実施当っては新工経営者懇話会に一任して開催をお願いします
	10月 中	第54回総会 ----- 書面総会 会 場 総 会 懇親会

※令和2年度行事について、役員会及び評議委員会の開催案内は行いません。
総会も書面総会とし、関係者の方々に資料配信します。
既に学校側の行事は体育祭・文化祭が中止ですので、今後のコロナウィルスの感染状況を見定めながら歩調を合わせて臨みます。

令和3年	2月26日	同窓会入会式
	3月 1日	第56回卒業式

第5号議案

令和2年度 新津工業高等学校同窓会 会計予算書（案）

収入の部

項目	予算	前年度予算	比較	備考
繰越金	23,535	38,951	-15,416	繰越金
新入会費	767,120	762,000	5,120	6,000×128人+手数料-880
広告収入他	70,345	69,049	1,296	広告費・利息ほか
計	861,000	870,000	-9,000	

支出の部

項目	予算	前年度予算	比較	備考
事務費	65,000	35,000	30,000	事務用品、コピー代、ホームページ設備
会議費	10,000	10,000	0	会議補助金
通信費	70,000	55,000	15,000	会報等送料、切手代
会報印刷費	55,000	55,000	0	会報印刷代
新入会員記念品代	137,000	140,000	-3,000	137名分
表彰・記念品	100,000	100,000	0	図書券 5,000×20名
同窓会資金	400,000	400,000	0	
総会費	10,000	30,000	-20,000	総会補助費
予備費	14,000	45,000	-31,000	
計	861,000	870,000	-9,000	

令和2年度 新津工業高等学校同窓会 特別会計予算書（案）

収入の部

項目	金額	積立金額	備考
平成28年度末積立金	2,750,498	300,028	積立金+利息
平成29年度末積立金	3,340,521	590,023	積立金+利息
平成30年度末積立金	3,940,547	600,026	積立金+利息
令和元年度末積立金	4,440,596	500,049	積立金+利息
令和2年度末積立金	4,840,596	400,000	

第6号議案

令和2年度同窓会役員名簿

1	会長	川内 勝	(13E)	13回電気科
2	副会長	山田 秀樹	(12e)	12回電子科
3	副会長	佐藤 仁是	(13E)	13回電気科
4	副会長	石黒 利幸	(14e)	14回電子科
5	幹事	阿部 英司	(6M)	6回機械科
6	幹事	吉沢 和久	(13M)	13回機械科
7	幹事	堀田 宏	(20e)	20回電子科
8	幹事	坂爪 裕介	(29E)	29回電気科
9	会計	大野 和也	(15M)	15回機械科
10	会計監査	藤原 繁	(5e)	12回電子科
11	会計監査	五十嵐 宏明	(31S)	31回機械システム科
12	評議員	笠原 由博	(1E)	1回電気科
13	評議員	田辺 篤	(3E)	3回電気科
14	評議員	楯 富雄	(3M)	3回機械科
15	評議員	谷内田 秋雄	(3e)	3回電子科
16	評議員	長谷川 貢	(5M)	5回機械科
17	評議員	笠原 悦雄	(6M)	6回電気科
19	評議員	島倉 弘	(6E)	6回電気科
20	評議員	田中 重之	(8e)	8回電子科
21	評議員	土田 勝男	(6E)	6回電気科
22	評議員	関口 敬三	(10M)	10回機械科
23	評議員	南場 恭夫	(11M)	11回機械科
24	評議員	五十田 規	(17E)	17回電気科
25	評議員	斉藤 靖	(20e)	20回電子科
26	評議員	加藤 知巳見	(20M)	20回機械科
27	評議員	石井 英夫	(28e)	28回電子科
28	顧問	小柳 新一	(1E)	1回電気科
29	顧問	岡村 茂	(1M)	1回電気科
30	顧問	高塚 則明	(8e)	8回電子科

(5) その他 (補足コメント)

- ① 第54号の同窓会報を9月10付けで発刊いたしました。
新型コロナウイルス感染症拡大の影響で発刊が遅れましたことを付け加えて置きます。
- ② 書面総会形式につき、異議等がありましたら通知書の送付先に、ご意見を寄せてください。
- ③ 同窓会と並ぶ「後援会」の組織も役員が交代した模様です。同窓会の活動とも連系しますので、コロナ動静をみながら「後援会」との交流を進めていきます。

新潟県立新津工業高等学校同窓会会則

【第1章】 総 則

第1条 本会は新津工業高等学校同窓会と称し、事務局を新津工業高等学校内に置く。

第2条 本会は会員相互の親睦を計り、母校の発展に貢献することを目的とする。

第3条 本会会員は下記によるものとする。

- ・正会員／母校の卒業生
- ・特別会員／母校の職員ならびに旧職員

【第2章】 役 員

第4条 本会に次の役員を置く。

会 長	1名	評議員会で推薦、総会で承認を受ける。
副 会 長	若干名	会長が推薦、評議員会で承認を受ける。
幹 事	若干名	会員中より会長が委嘱する。
会 計	1名	評議員会で推薦、総会で承認を受ける。
会 計 監 査	2名	会員中より選出する。

第5条 役員任期は2カ年とする。但し再任を妨げない。

【第3章】 職 別 及 び 機 関

第6条 会長は本会を代表し、一切の会務を総理。必要に応じて評議員会・総会を開催する。

- 2 副会長は会長を補佐し、会長事故ある時は会長の任務を代行する。
- 3 幹事は会長の指示に従い、必要とする事務全般を行う。
- 4 会計は本会の会計事務全般を行う。
- 5 会計監査員は会計を監査する。

- 第7条 本会には審議機関として評議員会を置き、役員と評議員で構成する。
- 2 評議員は若干名とし、会員中より会長が推薦、評議員会で承認を受ける。
 - 3 評議員会は、本会運営に関する総会議案等を審議する。
- 第8条 本会の最高議決機関は総会とし毎年1回これを開く。但し、評議員会の要望により必要に応じて臨時総会を開くことができる。
- 2 総会では、会則改正・会務・会計など評議員会から提出されたものを審議する。
- 第9条 本会には顧問をおくことができる。顧問は、本会の発展に貢献した者を評議員会で推薦し会長が委嘱する。顧問は会長の諮問に応ずる。
- 第10条 本会員10名以上居住する地区、または職場に支部を設置することができる。

【第4章】 会 計 事 務

- 第11条 本会の会計年度は毎年4月1日より翌年3月31日とする。
- 第12条 本会の経費は正会員の会費及び寄付金で充当する。
- 第13条 本会の会費は入会金及び特別会費とし、入会金は卒業時に一括納入する。

【第5章】 附 則

- 第14条 本会則は昭和41年3月7日より施行する。

昭和45年8月15日改正	昭和56年11月8日改正
昭和61年12月7日改正	平成元年11月12日改正
平成7年11月12日改正	平成15年10月25日改正
平成18年11月11日改正	平成23年7月16日改正
平成25年6月8日改正	

添付2

入会式の進捗説明用です。今回のみ参考として実施要項を添付しました

司会・進行用

同窓会入会式 実施要項

1 式次第

令和2年2月28日(金) 体育館にて (令和元年度卒 第55回生)

13:55 ~ 14:30頃 同窓会入会式 (学校集合13:30、同窓会が司会進行)

- 1 開会宣言 ----- 司会 (司会席で進行)
- 2 歓迎の挨拶 ----- 川内 同窓会長 (登壇、挨拶)
- 3 学校長挨拶 ----- 山川 校長 (登壇、挨拶)

- 4 同窓会役員紹介 --- 同窓会長 川内 勝 (役員席で起立、一礼)
幹事 坂爪 裕介 (役員席で起立、一礼)
会計 大野 和也 (司会で一礼)

- 5 同窓会表彰 表彰代表者を紹介し、その場で起立してもらう (別紙名簿参照:今回14名)
その後、会長に登壇を促し、引続き代表者も登壇、授与 ⇒ 双方降壇
3年3組 小林 帝 (こばやし みかど) ----(登壇、受領、挨拶)

- 6 卒業記念品贈呈 記念品受取代表者を紹介し、登壇してもらう
表彰授与を幹事に促し、引続き受領者も登壇、授与 ⇒ 双方降壇
3年3組 小林 鷹暉 (こばやし たかあき) ----(登壇、受領)

- 7 卒業生 学年幹事紹介 代表幹事を紹介し、その場で起立してもらう
3年3組 笠原 健斗 (かさらはら けんと) ----(その場で起立)

- 8 入会の挨拶 入会挨拶者を紹介し、登壇してもらう
3年1組 波田野 翔太 (はたの しょうた) ----(登壇、挨拶)

- 9 会則の説明 ----- (司会にて説明、会則は入会式前に事前配布)

- 10 閉会 ----- 表彰で名前を呼ばれた生徒は、役員席に賞状を取りに来てもらう旨案内する
これにて閉会、進行を学校に振る

2 卒業予定者数

工業マイスター科	37名	
生産工学科	24名	
ロボット工学科	38名	
日本建築科	29名	合計 128名

同窓会表彰代表	3年3組	小林 帝 (こばやし みかど)
記念品受領代表者	3年3組	小林 鷹暉 (こばやし たかあき)
学年幹事紹介	3年3組	笠原 健斗 (かさらはら けんと)
同窓会入会挨拶	3年1組	波田野 翔太 (はたの しょうた)